〔千葉医学　**92**：212，2016〕

〔 編 集 後 記 〕

千葉医学雑誌第92巻５号を会員の皆様にお届けします。本号は，最終講義１編，症例報告２編，総説１編，例会報告が２報，Open Access Paperの英文原著論文１編という構成となっています。

最終講義は，「肝疾患診療のこれまで・これから」として横須賀收先生がB型肝炎，C型肝炎，自己免疫性肝炎・NASH・門脈圧亢進症，肝がんに関する病態・診断・治療について最新の知見を講義して下さった内容となっています。特に，近年のC型肝炎の治療の進歩には目を見張るものがあり，最新の知見を分かりやすく講義して頂きました。

症例報告の１編目は，佐藤嘉治らによる同時性多発大腸癌に異時性重複癌が見出された症例の報告であり，遺伝性大腸癌を疑う症例のフォローアップについて議論しています。症例の２編目は，碓井彰大らによる症例報告であり，食道アカラシア術後再発に対して根治術を行った症例の考察から，食道アカラシア術後再発について詳細に議論しています。

総説は，第八回千葉医学会奨励賞受賞者の大野吉史君による化合物ライブラリを用いた抗がん剤探索に関する概説です。本稿で紹介されている千葉大学化合物ライブラリは，千葉大学で初めて合成された化合物や未発表のオリジナル化合物を含んでいるユニークなライブラリです。

第５回臨床研修報告会の37題では，幅広い領域からの多彩な症例の報告がなされた興味深い報告会であったことが伺い知れます。細胞治療内科学例会の33題では，最先端の診療・研究報告の抄録が紹介されおり，細胞治療内科学のアクティビティの高さを伺い知ることができます。

Open Access Paperは，三浦道明らによる大腿骨ステム周囲骨折に対する骨接合術の治療成績の報告で，ケーブル併用ロッキングプレートによる骨接合術の成績が良好であることを示した英文original paperです。

編集委員会では，英文original paperをPubMedに登載させるため，米国NIH National Library of Medicineのfree full-textアーカイブであるPMC（PubMed Central）への登録申請を現在検討しております。PMCへの登録条件をクリアするためにも，引き続き良質な英文original paperの掲載が必須となります。本号も充実した内容で千葉医学雑誌をお送りできましたことを編集委員の一人として嬉しく思います。本誌の発展のためにも，忌憚のないご意見とご貢献を宜しくお願い申しあげます。

（編集委員　白澤　浩）